

平成27年度 第1回 下鴨サロン

木質バイオマスが想像する未来



* 5月21日(木) 18:30~20:00

* at 京都府庁

* お問い合わせ・お申込み

京都府立大学京都政策研究センター 菱木・村山

Tel:075-703-5319 E-mail : kpiinfo@kpu.ac.jp

みやふじ ひさし

宮藤 久士

生命環境科学研究科 准教授

略歴

1971年山口県下関市生まれ。京都大学大学院農学研究科修士課程修了。96年大建工業株式会社開発研究所。木質ボードの研究開発。97年京都大学大学院エネルギー科学研究科助手。バイオマスエネルギー（バイオ燃料）に関する研究。00年京都大学博士（エネルギー科学）。01年-02年オーストリア国アグロバイオテクノロジー研究所博士研究員。07年京都大学大学院エネルギー科学研究科助教。10年より現職。

木質バイオマス（木材）の利用が、近年注目されています。木質バイオマス（木材）は、床や柱、家具などに使われていて、古くからとても身近な材料です。また最近では、薪やペレットとしてストーブの燃料に使われることもあります。

しかし、そもそも木質バイオマスとは何なのでしょう。古くから身近にあるにも関わらず、なぜ今注目されているのでしょうか。どんな使い方があるのでしょうか。木質バイオマスを使うことにどんな意味があるのでしょうか。木質バイオマスはエコで、エネルギー・環境問題の解決の糸口となると言われていますが本当でしょうか。

そのような疑問にお答えしながら、先端的な利用技術も概説し、古くて新しい材料である木質バイオマスを使うとどんな未来が創造できるのか、ご紹介したいと思います。

※「下鴨サロン」とは？

京都政策研究センターでは、発足当初から府大教員の教育研究内容を、広く府の職員の方々にも知って頂き、教員と府職員によるざっくばらんな政策論議のできる場として“下鴨サロン”を開催しています。ここでの議論は、肩書ははずし、既存の政策の枠組みにとらわれない議論をめざしています。また、平成25年度から、京都府職員の方にも講師を務めていただいています。